

◀スヴァールバル世界種子貯蔵庫

世界中のあらゆる植物の種子を冷凍保存する世界最大の施設「スヴァールバル世界種子貯蔵庫」(ノルウェー領スヴァールバル諸島スピッツベルゲン島)を2月25日、岡山大学資源植物科学研究所の佐藤和広教授が訪れ、同研究所のオオムギ種子575系統(各300粒)を貯蔵した。これらのオオムギ種子は、人間の食糧確保のために必要な品種改良の基礎となる重要な遺伝資源で、同貯蔵庫に保存することで、長期的な安全性を確保されることになる。

同研究所のオオムギ種子は、約70年にわたって世界各地から集められ、すでに失われた貴重な品種が多く含まれており、現在、文部科学省のナショナルバイオリソースプロジェクトによって国内外の研究者に分譲されている。特に日本、朝鮮半島、中国、ネパールなどの東アジア地域は、オオムギの多様性の大きな地域で、これらの保存と配付の中核となっている

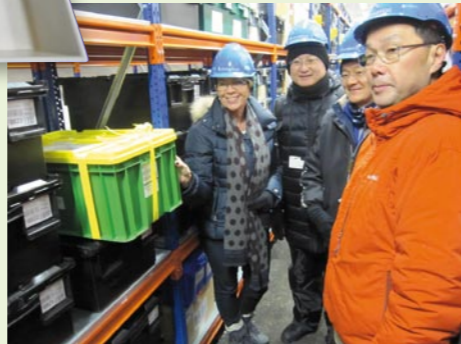
TOPICS 3 日本初 スヴァールバル世界種子貯蔵庫にオオムギ種子を保存

同研究所のオオムギは、世界でも五指に数えられる貴重な遺伝資源とされている。



◀自然植物科学研究所が預託したオオムギ種子

オオムギ種子を預託する佐藤教授(右) ▼



佐藤教授は、同施設を管理するグローバル作物多様性トラスト(国連食糧農業機関と国際農業研究協議グループが設立)のMarie Haga事務局長の同席のもと、我が国最初の植物種子の預け入れを行った。

現在、スヴァールバル世界種子貯蔵庫には約80万種類の種子が保存されており、オオムギ種子もマイナス18度で保存される。同研究所では、今後、約5,000系統のオオムギの預託を予定しており、これらの全ての系統に含まれる遺伝子の多様性を解析して、不良環境などを克服するための基礎研究や新しい品種の開発に役立てる予定としている。



▲準優勝した岡山大学女子アイスホッケー部



◀準優勝を喜ぶ選手ら

TOPICS 1 Okayama University

女子アイスホッケー部が第1回日本学生女子大会で準優勝

岡山大学女子アイスホッケー部が11月22〜24日、青森県八戸市で開催された「第1回日本学生女子アイスホッケー大会」に出場し、準優勝した。

アイスホッケーは、1チーム6人の選手が氷上でスティックを操り、パック(球技におけるボール相当)を相手方のゴールに入れ合う競技。本大会には全国から12チームが参加し、勝敗を競った。岡山大学女子アイスホッケー部は、全員大学からアイスホッケーを始めた初心者だが、週2〜3回のペースで行う練習では、社会人チームと合同で行うものもあり、基礎から試合中のコンビネーションまでしっかり指導を受けている。同部の織田萌子さん(経済学部3年、大会時キャプテン)は、「普段からしっかりとコミュニケーションをとるように心がけており、大会でもよく声が出ていた。来年は雪辱を果たし、ぜひ優勝したい」と話している。

フィギュアスケート 坪井遥司さんが初優勝

学生氷上選手権



▲学生氷上選手権の優勝を報告する坪井さん(右)



▲森田学長に衣裳を披露する坪井さん

1月7〜8日、北海道で開催された日本学生氷上競技選手権大会のフィギュアスケート男子で、岡山大学フィギュアスケート部の坪井遥司さん(マツチンプログラムコース3年)が合計209.84点で初優勝し、森田学長に成果を報告した。

前日行われたショートプログラムの71.18点で首位。翌日のフリープログラムでは、チャイコフスキー作曲の「白鳥の湖」にのせ、トリプルアクセルやステップなど1つずつ丁寧に表示。悪魔・ロットバルトをイメージし、男性らしく力強い演技で観客を魅了した。フリーでも138.66点でトップに立ち、見事優勝を決めた。坪井さんは、「次のシーズンにつながる良い演技ができた。ジャンプを気にして表現がおろそかになってしまふことが今後の課題」と話している。

TOPICS 4 Okayama University

生殖補助医療技術者(胚培養士)の養成や肺培養士へのリカレント教育、生殖補助医療技術研究を行う生殖補助医療技術教育研究センター(ARTセンター)の看板掲揚式が2月6日、岡山大学農学部III号館で行われた。

森田学長と同センターの奥田潔センター長(農学部長)が「胚培養士の養成は社会的急務。高度な知識と技術をもった胚培養士を育成したい」とあいさつ。阿部宏史教育担当理事と受精卵をイメージした丸い看板を掲げた。同センターでは、農学部が得意とする胚を扱う技術、医学部で培われている医学的衛生観念を合わせ、両学部が協力して独自のカリキュラムを策定し、胚培養士を目指す学生に不妊治療機関などにおけるインターンシップを盛り込んだ教育を実施する。

ARTセンター 看板掲揚式を開催



看板を掲げる(左から)森田学長▶阿部理事、奥田センター長